

2024年3月発行
社会福祉法人ありのまま舎
(障害者自立企画)

発行責任者 白江 浩
編集 佐藤 環

〒982-8544

仙台市太白区西多賀4丁目19-1

TEL022(243)1300

<http://www.arinomama.or.jp/>

E-mail houjin-arinomama@globe.ocn.ne.jp

感染症対策続くー入居施設でクラスター対応ー

2月中旬、亘理ありのまま舎にて入居者、スタッフの新型コロナウイルスによるクラスターが発生しました。昨年9月に太白ありのまま舎で発生し、法人内の事業所では2か所目になります。入居者の体調不良から拡大し、陽性者はゾーニング(居室移動、対応するスタッフは感染症対応の防護具を着用等)を実施しましたが、同時にスタッフへの感染も拡がりまし
た。一時、スタッフの確保できない状況になり、ほかの事業所から手伝いのスタッフを派遣し対応しました。また外部利用者の方、ご家族の面会の制限も強化しました。2月下旬に感染が落ち着き、スタッフが療養から復帰しはじめ、やっと全体が落ち着きました。

コロナウイルスが5類に移行しましたが、感染力は強く実際にケアの現場では感染症対策やクラスターの対応に迫られています。その一方で5類に移行してもなくなりません。予防接種による重症化の緩和、国の療養期間5日間を踏まえつつ、ありのまま舎が定める療養期間の見直しを議論しています。緩和するための根拠を明確化し、また勤務前に抗原検査を活用する方法も検討しています。

令和6年度の報酬改定にて、新型コロナウイルス発生時における業務継続計画(BCP)が義務化となります。

それに伴いありのまま舎の各事業所では、「2023-2024年度感染対策年度計画」、「感染等対策指針(基準省令上指針)」、そして「業務継続計画(BCP)」の策定を行いました。今後の運営にしっかり活用していきたいと思えます。



シマシマ実践し、手指消毒、うがい、マスク着用、手洗いを心がけてください。個人感染による被害を減らすために、手洗いを心がけてください。

薫る風

能登半島輪島市、穴水町、七尾市を訪問した。亡くなられた方々へ心よりお悔やみを申し上げますと共に被災された方々にお見舞いを申し上げます。今回は3つの地域を訪問したが、それぞれ場所を移動する間、道路事情、街並みも見させて頂いた。ひとことで感想を言えば、「どこから手を付けて行くのだろうか」ということに尽きる。片側車線が崩落した道路を走った。崩落した車線を走っていた車はどうなったのか。見るもの見るものがそのように想像され、正直気持ちがつぶれそうになった。東日本大震災の時の喪失感とは違う、気持ちの混乱を覚えた。阪神淡路大震災や熊本地震の時とも違う衝撃があった。なんでもそうだが、そこにいた人も道路も建物もテレビ等を通して見た印象とは違い、そこで暮らしていた人々の生活感も伝わり、生々しさが強い印象として残った。どこから何に手を付けて、どうすれば良いのか分からず、呆然とした時間がきつと長く続いた(あるいは今も続いている)と思うし、そういう時間なしに生き続けていくことはできないと思う。さて、そもそも今回の訪問の目的はありのまま舎同様の障害者支援施設の状況を確認するためであった。三つの施設を訪問した。それぞれに大きな課題があった。ひとつは今も上下水道が止まっているため、物資は届いているが発災直後と大差ない状況にある施設。建物が大きく破損し修繕が必要なたため避難が必要な状態にありながら、障害特性のために避難先、避難環境が限られ、重症度が高く受入れには、今の職員が同行しなければならぬ施設。建物被害は大きくても何とか暮らせるが被災職員への支援が必要(人的支援)な施設。様々な状況下で、必要な支援内容も異なることを確認し、それに合わせた支援体制を取りたい。(白江浩)

能登半島地震への支援

能登半島で大きな地震があり、現在も大きな被害が続いています。障害を持った方々の施設においても建物が大きく被害を受け、水の確保が難しく、さらには従事するスタッフ自身も被災されたため、出勤できるスタッフが限られ、入居者の方々の支援にあたっては現状がありました。

太白ありのまま舎と巨理ありのまま舎が所属している全国身体障害者施設協議会の加盟施設2施設も大きな被害を受け、幸いにも人的被害はなかったものの、まずは物的支援として、太白ありのまま舎が事務局を担っている東北ブロック身体障害者施設協議会(加盟54施設)から支援物資を調整し、衛生用品(オムツ、マスク、簡易トイレ等)、食料をお送りしました。

また施設で従事するスタッフは約4割が被災している情報があり、施設よりの直接要請により、5月末まで東北ブロック各施設とローテーションを組んで人的支援を続けており、ありのまま舎のスタッフも支援に入る予定です。関係機関と連携を取り、必要な支援をできる限り続けていきたいと思えます。

(嶺岸智)

令和6年度

ありのまま生活福祉講座
ありのまま自立大賞

令和6年度の「ありのまま生活福祉講座」と「ありのまま自立大賞」の日程が決まりました。昨年同様に対面で講座と授賞式を行う予定です。

福祉講座では座長の杉子女王殿下、自立大賞では選考委員長の瑠子女王殿下にご指導を賜り、進めてまいります。

今後とも会報「自立」等を通じてお知らせしていきたいと思えます。よろしくお願ひ致します。

【ありのまま生活福祉講座】

令和6年6月22日(土)

13時半～16時

場所 中小企業活性化センター
多目的ホール(アエル内)

講師

座長 杉子女王殿下

講師 河合純一氏

(日本パラインピック委員会委員長・元パラインピック水泳選手・自立大賞受賞者)

【ありのまま自立大賞 授賞式】

令和6年7月20日(土)

14時～15時

場所 中小企業活性化センター
多目的ホール(アエル内)

西多賀エリア

【ホームケア仙台ありのまま舎リビングセンター】

グループホームでは6か月に1回、入居者の方々の個別支援計画の見直しを行っています。退院後の方や体調に変動のある方は必要に応じて3か月等に設定しています。

個別支援計画はその方がどのような生活を送りたいと希望を持っておられ、そのためにどんな支援(ケア)が必要なのか聞き取りを行い、計画書を作成していきます。ご本人と面談を行う中で、体調や身体面の変化、今後の希望(目標)を伺います。

「入退院が多くてやっと戻ってきた。できるだけ長くホームで生活したい。」「いま頑張っているリハビリを続けたい」など希望があります。その思いを実現するためにどのような支援が必要かを考え、本人とホームの役割を支援計画にまとめていきます。ご本人の意志を尊重することを大切に作成しています。

令和6年度の報酬改定では、利用者の自己決定の尊重及び意思決定の支援に重きがおかれ、個別支援会議では入居者本人が参加し、ご本人の生活に対する意向等を改めて確認することが明記されました。ホームではこれまで入居者の方が必ず会議

に出席していただいています。ご本人の意志決定、自己実現がより重要視され、また支援者の対応も問われていることを感じます。入居者の意志が尊重されるケアを私たちは目指し実践していきたいと思えます。

(佐藤環)



【ありのまま舎ホームページのご紹介】

当舎ホームページのQRコードです。各事業所の施設紹介を掲載しています。また会報「自立」の場バックナンバー、出版物の紹介、ご支援いただきたい内容、求人情報等も掲載しています。ぜひご利用ください。



【サポートケア仙台ありのまま舎基幹相談支援センター】

令和2年より流行したコロナウイルスは現在もお、留まることはありません。現在は更にインフルエンザも流行するといいう非常に困難な時期を迎えています。計画相談の業務で様々な事業所にお伺いする時や電話でお話する時に、感染症についてお話が出ないことはほとんどありません。感染症の影響についても教えて頂くこともあります。

通所施設では利用者さんの感染者が増えて閉所することになってしまったこと、お聞きすることもありました。利用者さんだけでなく、職員の方々や家族が感染することで出勤できないことも原因とのことでした。

ヘルパー事業所さんでは、ヘルパーさん自身だけでなく、同居しているご家族が感染し濃厚接触者になることで出勤できないこと、利用している方のお宅に訪問ができなくなる、携わっている方々の困りごと、悩み、不安に寄り添い対応させて頂いているところ、早く感染症が落ち着いて、「あんなこともあったね〜」皆さんと笑い合える日を想いながら日々の支援に向き合っています。

(相澤誠一)

茂庭台エリア

【難病ホスピスケア太白ありのまま舎】
【事務局】

今年はずっと暖冬だと思っていた二月半ば、たつぷり水分を含んだ雪が茂庭台を覆った。積雪が20cm以上はあろう早朝、除雪機の音がけたたましく響く。宿直職員・宿舎職員より早く出勤した職員のお陰で大方の雪かきも済んでいた。歩道の雪かきも済んでいた。通学・通勤する方たちと「おはようございます」に「足元に気をつけていってらっしゃい」が加わることが何だか嬉しい。

9年前仙台に引越した当初は、積もった雪に感動し、雪かきに無邪気に大興奮した。

しかし今は違う。施設にとつて雪かきは備えなのだと思うようになった。日中活動ご利用の送迎車・納品業者が安全に駐車できるよう。何より、今まさに災害が発生したなら入居者と安全に避難できるかを考えるようになった。どうか避難通路を使用する事のなきよう、万一避難する事があっても大丈夫と確認しながら雪をかく。
それにしても、今朝の雪はこのほか重い。能登半島地震で被災した方々に想いを馳せ、腰を伸ばしへこたれてしまいそうな自分に喝を入れた。

(鈴木美代子)

難病ヘルパー講習

4年ぶりに開催

NPO法人宮城県患者・家族団体連絡協議会と共にありのまま舎では、仙台市内の障害者総合支援法に基づく居宅介護事業所に勤務する従事者を対象とした、仙台市「難病患者等ホームヘルパー養成研修（難病基礎課程Ⅱ）」が令和6年2月21日（水）オンライン形式にて開催されました。コロナウイルス感染対策が継続される中ではありましたが、開催形式を変えて4年ぶりの開催となりました。

出席者の表情が画面越しに映し出され、じつと画面を見つめ資料に目をやり専門知識を深め、患者当事者7名の講話が始まると、病名を聞き瞬時に興味ある表情で、お一人お一人の貴重な話に心を開き病気や障害がもたらす様々な状況変化と心の葛藤について真剣な眼差を向けて話を聞かれました。

この講座を始めてから延べ263名の方々に修了証書と修了証明書をお渡ししてきました。この実りある研修が生きた現場で活かされることを願って、来年の開催に繋げていきたいと思っています。

(栗原千賀子)

【チャイルドケア仙台ありのまま舎保育園】

冬の寒さを感じる日もありますが、上着が必要ないくらい暖かい日が増えてきましたね。駆け足で新しい春がやってきたようです。

今年度はとても賑やかな一年でした。子どもたち一人一人の個性がよく発揮され、慌ただしかったですが、笑いもたえない日々でした。

子どもたちは異年齢保育の中それぞれ影響しあい、のびのびと健やかに成長し、お友だちとの関係性を学んできました。

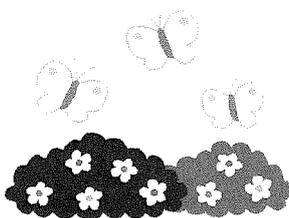
一歳児クラスで月齢が一番低いのですがお友だちのお世話が好きなお友だちは、半年程月齢が上ですが小柄なお友だちを「あ



大きな紙におえかき！



外でも元気いっぱい！



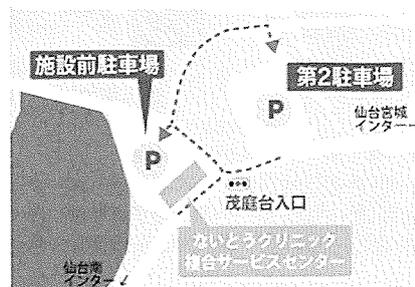
かちゃん」と呼びながらとても気にかけて、仲良くしていました。小柄で抱っこを好む姿から自分より小さな「赤ちゃん」と感じたのでしよう。子どもたちからしたら月齢なんて関係ないですよ。保育者やお友だちとのやり取りから学ぶのです。興味深くかわいらしい姿でした。

四月からは卒園等で人数が少なくなり、新しいお友だちも入ります。関係性も変化します。どんな面白い姿が見られるか楽しみです。
(春日麻里)

医療法人社団静実会

【法人理念】「やさしさと気配りをもって、赤ちゃんからお年寄りまでを診る地域の家庭医を目指します。」を念頭に「住み慣れた町で、なじみの関係を大切にその人らしく自由に生活していただく」を推進します。

- 地域連携室 TEL: 022-796-6590 FAX: 022-796-6538
- ないとうクリニック (内科・小児科・訪問診療・通所リハビリ) TEL: 022-281-5490 FAX: 022-281-5491 (ないとうクリニック) TEL: 022-796-6943 FAX: 022-796-6944 (通所リハビリ)
- ないとうクリニック訪問看護ステーション TEL: 022-796-9320 FAX: 022-796-9321
- かがやき TEL: 022-796-6957 FAX: 022-796-6958
- ないとうクリニック居宅介護支援事業所 TEL: 022-796-1871 FAX: 022-796-1872



「ご支援頂きありがとうございます
ございました(敬称略)」

【書損じはがき等】
24 1/27 ~ 2/24

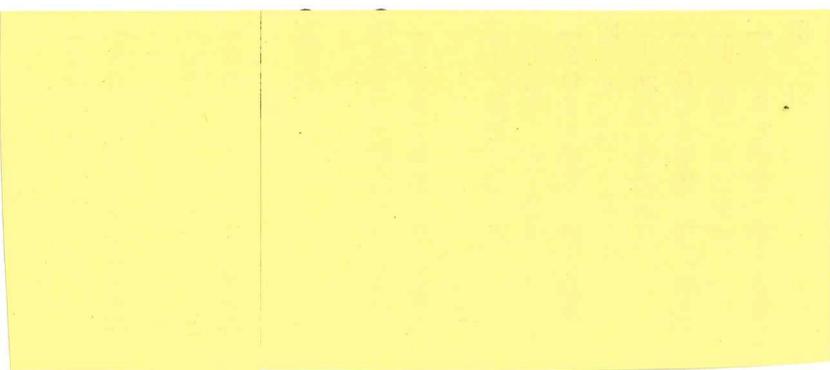
【バザー提供】
24 1/25 ~ 2/24

【バザー開催日のご案内】

- 《2024年4月》
- 2日(火) コークベニマル鉤取店 (太白区)
- 4日(木) ヨークマルシェ大和町店 (若林区)
- 11日(木) 鶴ヶ谷生鮮いちば (宮城野区)
- 16日(火) ヤマザワ茂庭店 (太白区)
- 25日(木) 鶴ヶ谷生鮮いちば (宮城野区)
- 27日(土) ありのままショップセール (仙台ありのまま舎)
- 30日(火) 袋原(向日葵ライフ)ポータルセンター・太白区

ありのまま舎後援会(敬称略)

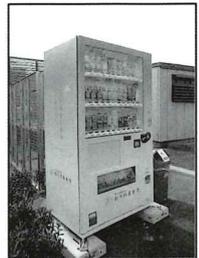
〜後援会員大募集〜



遡っての会費の納入、また
来年度の会費の納入を頂きあ
りがとうございます。
(事務局 佐藤環)



自販機設置支援



各事業所に設置し、入居者、スタッフ、地域の皆さんにご利用いただいています。会社や個人の自宅前にも設置のご支援を頂いています。

- 【自販機販売設置支援】
- ◆サントリーブバレッジ
1月分の売上の一部を(寄付)頂きました。
こくみん共済coop
宮城推進本部 1,681円
- ◆ありのまま舎(自立ホーム・太白ありのまま舎・サポートケア 県南・亘理ありのまま舎) 11,118円
- ◆株式会社ミチノク
23 10 ~ 12月分売上
日下亜弥 1,067円
- ◆亘理ありのまま舎 7,337円

「協力ありがとうございます
ございました(敬称略)」

【本部】

◆会報発送のための帯封の糊付けを、仙台西高等学校JRC有志・東北学院榴ヶ岡高等学校有志・個人の皆様にお手伝いいただきました。

◆会報の折り込みは、日本基督教団東北教区婦人会の仙台ホサナ教会の皆様にご協力をお願いしながらお手伝いいただきました。

◆バザー会では、各会場でコロナ感染症予防に気を付けながらお手伝いいただいています。ショップセールの会場でも、開始準備や片付け等のお手伝いいただきました。

【太白ありのまま舎】

◆茂庭台ボランティアグループの皆様による「気ままに書く会(書道) ◆宮城県車いすダンス協会様による「車いすダンス」 ◆仙台シルバーネットの皆様による「読書会」など施設内で行う活動は引き続きお休みさせていただいております。

暖かい日差しに、春が近づいて来ている事を日々感じます。上着無しで遊んでいる子供や、中には半袖の子も見かけますが、さすがにそこは驚かされます。インフルエンザと新型コロナウイルスが流行していますが、皆さまが健康でありますようお祈り申し上げます。(遠藤寿子)

フラワー 虹の丘本店は新店舗にて元気に営業中！

スマホで簡単予約♪
モバイルオーダーはじめました→



ご来店やドライブスルーでお受け取りのご注文をスマートフォンで簡単にご予約いただけます！



- 虹の丘本店 仙台市泉区虹の丘4-14-1 TEL022-375-4411
- 泉中央 SELVA 店 仙台市泉区泉中央1-4-1 TEL022-371-0311
- 北仙台店 仙台市青葉区昭通町5-42 TEL022-728-4411

1976年2月25日 第3種郵便物認可(毎週4回月・火・木・金曜日発行)